

能登半島地震・被災者支援プログラムの報告（第17回）

東京都・TVAC・CS-Tokyo

■日程：2024年8月14日（水）～8月17日（土）

■ボランティア参加者数：20名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
8月15日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋仮設団地	5名
8月15日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	14名
8月15日（木）	穴水町中居地区 住吉公民館	14名
8月15日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	14名
8月16日（金）	穴水町志ヶ浦地区 志ヶ浦コミュニティセンター	18名
8月16日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	50名
8月16日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会所	26名
8月16日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	25名

■被災者の声（主なもの）

- ・一人で住んでいてポストにサロンのチラシが入っていた。近所の人に勧められて来た。
- ・息子が金沢市に住んでいて、家の片づけに毎回2時間以上かけて通って来て大変だった。
- ・避難所に2,3か月いて足腰が弱った。エコノミー症候群にならないように気を付けている。
- ・震災前は大きい家に住んでいた。仮設住宅は狭くて、生活音に気がつかう。家がなくなって生きる勇気がなくなった。
- ・主人が休みの日に海に潜ってサザエを採っている。
- ・先月まで加賀に避難していて、戻ってきた。今は自宅の片づけをしている。
- ・通院していた歯科医院が閉院していたので不便だった。最近診てもらえる様になって安心した。
- ・地震前と後では風景が変わってしまった。みんな家のことで精一杯で農作業まで手が回らないのでは？
- ・ボランティアがプランターと種を持ってきてくれてゴーヤを植えた。
- ・「穴水音頭」は誰でも歌えるし踊れるよ！
- ・中居の友人宅に行ったら、外見は無事だが室内は物が散乱していて片付けもままならない様子だった。また会いに行きたいけれど、ただ会いに行くのは迷惑かなと感じて声を掛けにくい。
- ・他県ナンバーの車を見ると怖いと感じる。
- ・能登は海と山があっていいところだよ！星が綺麗なんだよ。今度は旅行で来てよ。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・住民同士のコミュニケーションが闊達でサロンが賑わっていて、『交流の場づくり』という意味合いを強く感じた。これまでの活動の積み重ねで今の状態になっていると思う。次のステップに進んでもよいのではと思った。



※正願寺で開催された2,200本のろうそくを灯す『祖霊のともしび』のお手伝いをしました。